

# NUAL 名古屋大学全学同窓会

## News Letter No.1 2002.9



### 名古屋大学全学同窓会設立総会

Nagoya University Alumni Association (NUAL)

### 記念講演会・祝賀会



名古屋大学全学同窓会(会長:豊田章一郎)は、名古屋大学と社会を結ぶ必須の組織として、名古屋大学の発展と社会への貢献を図るとともに、会員相互の交流、親睦等を目的としています。  
本同窓会は、卒業生や修了生のみでなく、名古屋大学の教職員及び教職員であった方などすべての関係者を構成員とする新しいタイプの同窓会を目指しています。



**日時・場所** 平成14年10月27日(日) 午後2時15分～  
名古屋大学(豊田講堂ホール、シンポジオン)  
名古屋市千種区不老町

**設立総会** 午後2時15分(受付開始 午後1時)  
豊田講堂ホール

**記念講演会** 講演者 副会長:柴田昌治  
午後3時30分・豊田講堂ホール

**祝賀会** 午後4時15分  
シンポジオン

**祝賀会会費** 3000円  
(祝賀会会費は、お手数をおかけしますが、下記の所に10月7日(月)までにお振り込みください。)  
郵便振替 口座番号:00880-8-113043  
名古屋大学全学同窓会

**問い合わせ先** (名古屋大学総務部総務課内)  
名古屋大学全学同窓会設立委員会事務局  
電話 052-789-5759 FAX 052-789-2019  
URL:http://www.nual.nagoya-u.ac.jp

いよいよ平成14年10月27日(日)に名古屋大学全学同窓会が設立されます。  
News Letter No.1として、設立総会の案内と、設立までの経緯をお知らせします。

CONTENTS	ごあいさつ .....2	Q&A ..... 8
	全学同窓会は何故必要か .....3	名古屋大学全学同窓会設立基金への寄付のお願い .....9
	設立の理念 .....5	名古屋大学全学同窓会財務計画(案)について ..... 10
	設立までの経緯 .....7	

## ごあいさつ

名古屋大学全学同窓会会長 豊田章一郎



この度、名古屋大学全学同窓会設立にあたって、会長をお引き受けいたしました。昭和22年に名古屋大学工学部を卒業して、これまで全学レベルの同窓会が存在しなかったのを不思議に思っております。大学全体と卒業生とのつながりがこれまで、必ずしも十分でなかった理由の1つと考えておりました。平成16年度に予定されております、名古屋大学の法人格取得に伴って、大学と社会の連携がますます必要であり、とくに大学と卒業生との密接な連携協力が求められており、この全学同窓会が「大学と社会を結ぶ必須の組織」となると考えております。

私は、21世紀の名古屋大学が、国際競争力を向上させ、日本を支える大学になることを強く望んでおります。日本の将来を担うリーダーの育成も不可欠の役割です。あわせて、名古屋大学が、ものづくりに特徴をもつ中部地区の基幹総合大学として、ものづくりを担える研究、技術開発および経営などの人材育成も行って頂ければ幸いです。私も、このような名古屋大学をつくるために、今後、名古屋大学後援会の設立も視野に入れて全学同窓会を通じて協力したいと思っております。

名古屋大学全学同窓会設立委員会の努力により、平成14年10月27日(日)に設立総会を迎える運びになりました。本同窓会は、卒業生や修了生だけでなく、名古屋大学の現旧教職員など名古屋大学関係者すべての方々を構成員とする新しいタイプの同窓会を目指しております。

同窓会が計画している多岐にわたる事業も、皆さんの物心両面の支援なしではありえません。本同窓会の設立と今後の隆盛を皆さんとともに祝い、決意を新たにしたいと存じます。また、設立時の活動基金の募集にもご協力をお願い申し上げます。

名古屋大学総長 松尾 稔



名古屋大学は、昭和14年に日本で7番目の帝国大学として、医学部と理工学部の2学部により創設されました。その後、昭和24年に新制大学として再出発して、日本の基幹的な総合大学に発展してきました。伸び伸びとした自由闊達で国際性豊かな学風のもと、日本を代表する総合大学の1つとして、世界における第一級の研究成果を挙げ得る大学を目指し、あわせて広い視野と高い教養を持つ人材を養成するための教養教育や社会の進歩に役立つ専門教育の充実に力を入れています。

名古屋大学は平成16年度の法人格取得をひかえて、これまで以上に社会とのつながりを深め、人的交流をととした密接な協力により、社会と大学との相互の発展を図って参りたいと思っております。この度、社会で活躍の卒業生の方々のご尽力により、名古屋大学全学同窓会が設立されることは、このような時代背景があるものと考えます。豊田章一郎会長を初めとして、錚々たる卒業生の方々に役員になっていただき、設立の理念にありますように名古屋大学と社会をつなぐ必須の組織として、全学同窓会が設立されることを深く感謝いたします。

今後、名古屋大学学術憲章で示されているように、名古屋大学は、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することをその使命としており、とりわけ、人間性と科学の調和的發展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践するよう努力し、基幹総合大学としての責務を持続的に果たす所存です。今回設立される全学同窓会と名古屋大学が密接な関係をもち、社会と名古屋大学をつなぐ必須の組織として活動して下さることを強く望みます。卒業生を初め名古屋大学関係者の全ての皆様にご協力をお願い申し上げます。

# ■ 全学同窓会は何故必要か

## 1. 現状と背景

最近の情勢を踏まえて、全学同窓会の設置が各大学で進められつつある。これは、大学が社会に開かれ、種々の情報公開やアカンタビリティを求められている状況が背景としてある。すなわち、まず卒業生などへの情報提供を行うことにより連携協力し、大学への理解と支援を得ることを目的としている。今後、国立大学の法人格の取得を視野に入れると、全学同窓会の必要性は、ますます増すものと思われる。

## 2. 名古屋大学全学同窓会設立と運営に関する問題点

名古屋大学の各部局同窓会の設置状況は、経済学部同窓会キタン会のように社団法人格を取得して、古くから活動している同窓会もあるが、まだ、部局同窓会が設置されていない部局もある。そのため、全学の同窓会を設立する場合、種々の問題点があり、以下のような対応策が議論された。

### 1) 部局同窓会との関係

- ➡ ゆるやかな連合的な組織とし、情報交換と連携協力を行う。従来の部局同窓会の活動には影響を与えない。卒業生などへの情報連絡は、インターネットを利用した交流基盤を整備する。なお、部局同窓会との連携を考えた情報連絡も考える。

### 2) 同窓会組織のない部局の扱い

- ➡ 部局同窓会の連合組織だけとはせず、全学同窓会として、卒業生、修了生、現旧教職員などの名古屋大学関係者は全て会員とする。ただし、全学同窓会の運営は、部局同窓会からの代表を受け入れ、他の部局同窓会がない部局の人も含めて行う。ゆるやかな連合同窓会を基にして、全学同窓会として独自の組織を確立する。

### 3) 部局同窓会からの分担金で全学同窓会を運営しようとしても、分担金を支払える同窓会組織は少ない。

- ➡ 全学同窓会支援会員制度などを創設する。また、現役学生は将来的には同窓会会員になるので、校友会などからの補助も可能であれば検討する。当分の間、部局同窓会の分担金は要請せず独自財源を確保する。将来的に、各部局同窓会が整備されたときには、分担金も考えるが、猶予期間なども設け、支払える限度内とする。なお、分担金は会員数の割合で分担金を支払うようにする。

### 4) 学生を持たない部局の教職員をどのように会員として組み入れるか。

- ➡ 2) の対処で可能。

## 名古屋大学全学同窓会設立の背景

### 背景

国立大学の法人格取得を目前にして

大学と社会との連携がますます重要に  
情報発信 産官学連携 説明責任

卒業生、名大関係者の支援が不可欠  
卒業生がどのような活躍をしているか：大学評価  
社会における名古屋大学のプレゼンス



大学全体の新しいタイプの同窓会の必要性

大学と社会を結ぶ必須の組織として

## 名古屋大学全学同窓会の特徴

■ 大学と社会を結ぶ必須の組織(装置)として  
新しいタイプの同窓会を目指す(会則の目的)

- 名古屋大学関係者を全て含む
- ・ 卒業生, 修了生
  - ・ 教職員, 旧教職員
  - ・ 短期留学生
  - ・ 現役学生(準会員)
  - ・ その他会長が適当と認めた者

## ■ 設立の理念

名古屋大学全学同窓会の設立の理念は、同窓会役員名簿と同様にパンフレットに示されていますが、以下に簡単にまとめたものを示します。

**設立の理念（大学と社会を結ぶ必須の装置）**

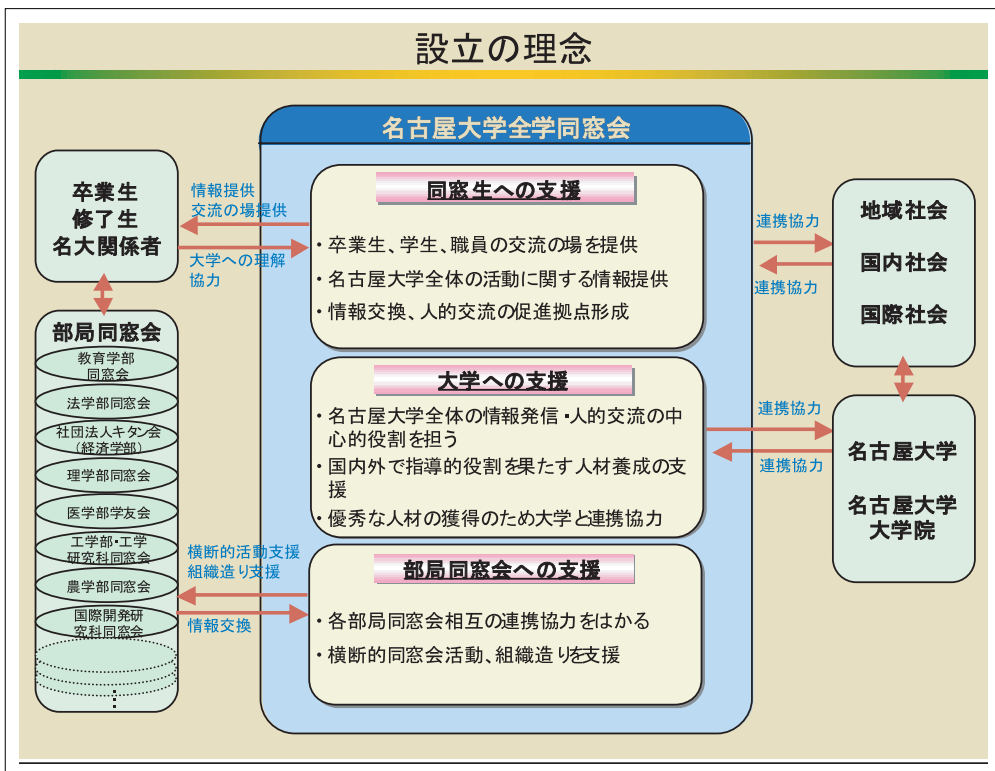
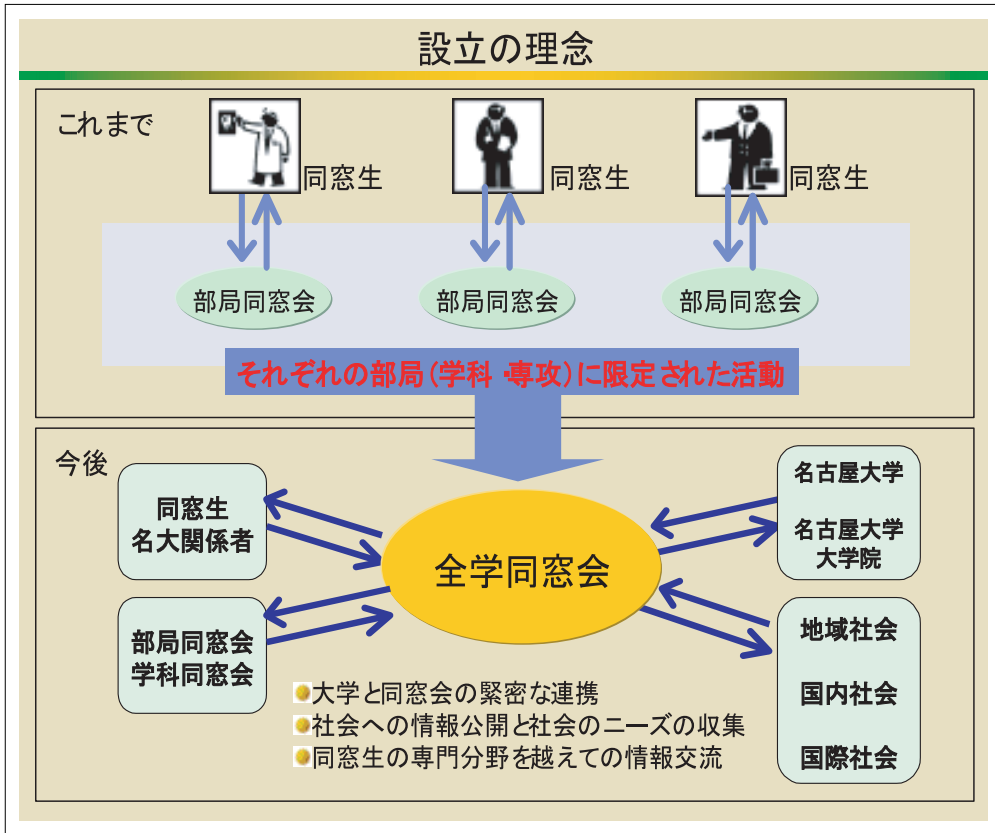
- 部局同窓会と連携しながら卒業生、学生、教職員の**交流の場を提供**する
- 名古屋**大学全体**の活動に関する**情報を発信**する

- 部局同窓会などと協力し、**大学と地域社会や産業界との協力の核**となる
- 名古屋大学が社会に開かれた大学になるように**大学と連携協力**する

- 全学的見地から**学術研究、教育および学生の支援**を行う
- 名古屋大学の声価を高め**優秀な人材を集める**ように大学と連携協力する

- 留学生を含む同窓生などの活動を把握**する
- 大学と連携協力して**情報交換と人的交流を促進する拠点**を形成する

- 各部局同窓会の相互の**連携協力をはかる**
- 部局を越えた**横断的な同窓会活動や組織作り**を支援する



## ■ 設立までの経緯

名古屋大学の全学同窓会の設立に関しては、10年以上前から動きがありましたが、種々の事情で実現にいたりませんでした。今回、社会的な環境条件も大きく異なり、全学および卒業生を含む名古屋大学関係者の賛同が得られ、名古屋大学全学同窓会が発会を向かえています。ごく簡単にこれまでの動きをカレンダー式にまとめました。

### 1. 設立準備委員会設置前

平成13年 7月	部局同窓会の意見を集約 設立構想の企画立案
平成13年 9月18日	総長が評議会で大学全学の同窓会設立の検討開始を提案

### 2. 設立準備委員会設置後

平成13年10月10日	第1回設立準備委員会 総長から委員長の指名 委員会幹事の決定 全学同窓会（仮称）の設立について意見交換
平成13年11月 7日	第2回設立準備委員会 全学同窓会（仮称）の設立に合意 副委員長の決定 設立準備委員会から設立委員会に移行を了承

### 3. 設立委員会設置後（以後毎月開催）

平成13年12月21日	第1回設立委員会開催 委員長等委員会役員・構成の確認 事業・財務・名簿の各小委員会の設置、委員長の決定 設立の理念、会則案の大枠了承 全学同窓会の名称「名古屋大学全学同窓会」を決定 プレ発会式の開催を了承 役員候補の検討開始
平成14年 1月29日	第2回設立委員会開催 全学同窓会の英文の名称「Nagoya University Alumni Association」を決定
平成14年 2月22日	第3回設立委員会開催 全学同窓会の愛称「NUAL(ニユアル)」を決定
平成14年 3月 5日	プレ発会式実施
平成14年 4月	会長、副会長候補者決定
平成14年 5月	顧問、評議員、監事、幹事候補者決定
平成14年 6月21日	設立総会開催日決定
平成14年 6月	社会貢献人材バンクの作成（全学同窓会名簿のデータベース化）開始
平成14年 9月	設立基金募集開始
平成14年10月27日	名古屋大学全学同窓会設立総会開催予定（総会・記念講演会・祝賀会）

Q & A

**Q：全学同窓会をつくるメリットはなんですか。**

A：名古屋大学は、平成16年4月には法人格を取得しました。以後は、法人として自己責任で事業を進めなければなりません。当然、社会と密接に連携して行く必要がありますが、その際には、全学同窓会が人的な交流をとおして中核的な役割を果たすと期待できます。

**Q：部局同窓会が既にあるのに、なぜ現時点で全学同窓会を設立するのですか。**

A：部局同窓会の意義は、これからも減ることはありません。しかし、法人格をもつ名古屋大学が社会と連携して活動していくためには、各分野を横断的に組織した全学同窓会をもつことこそが、総合大学としてのメリットを最大限に生かすこととなります。部局同窓会と全学同窓会が重層的にあり、役割を協力して初めて、大学と社会を結ぶ必須の組織としての役割を果たせると考えています。

**Q：各会員にとって、何がメリットになるのでしょうか。**

A：いままで以上に、名古屋大学全体の情報を簡単に手に入れることができるようになります。また、卒業生や名古屋大学関係者の社会における活動を把握し、大学とのつながりが増します。また、部局を越えた会員相互の連携も可能になります。会員および大学にとって双方にメリットある多くの活動を計画しており、順次実現に努力いたします。

**Q：設立委員会の活動を教えてください。**

A：設立委員会は昨年10月10日に準備会として発足し、その後、設立委員会に移行しました。平成14年3月5日には、部局同窓会の代表や卒業生などの方をお呼びして、プレ発会式を行いました。設立の準備に関しては、設立の理念、会則の決定などを行い、やっと役員を選任が終わりました。全学同窓会会長には、トヨタ自動車名誉会長の豊田章一郎氏（昭和22年工学部卒）の就任が決定しています。現在は、全学同窓会の名簿整備と、10月27日（日）に開催する設立総会の準備をしています。また、これから、全学同窓会設立基金への寄付金のお願いをすることになります。

**Q：全学同窓会の会員の資格を教えてください。**

A：原則的に、名古屋大学に在籍したことのある人、および現在在籍している人は資格があります。卒業生、修了生だけでなく教職員や教職員であった方など名古屋大学関係者全てを含みます。部局同窓会の会員の方は、全学同窓会の会員として登録されています。

**Q：研究生でしたが、資格はありますか。**

A：もちろん、資格があります。

**Q：留学生ですが、資格はありますか。**

A：大歓迎です。

**Q：登録はどうすればよいのですか。**

A：部局同窓会の会員の方は、全学同窓会の会員として名簿に登録していきます。登録情報の変更がある場合には、全学同窓会のホームページにアクセスをお願いします。

**Q：同窓会の会費は必要ですか。**

A：会員は10万人規模になりますので、全員の方に会費をお願いすることはありません。同窓会の運営は、学内外の個人、法人からの寄附金および支援会員（会員のうち支援会費納入者）の会費等でまかないます。是非皆様のご協力をお願いいたします。

**Q：支援会員には誰がなれるのですか。**

A：全学同窓会を支援する意思のある個人あるいは法人は誰でもなれます。



## 名古屋大学全学同窓会設立基金への寄附のお願い

名古屋大学全学同窓会は、平成14年10月27日に設立されますが、財政基盤を確立するとともに、当面の活動基盤整備のための寄附をお願いすることになりました。とりあえず、平成15年3月末を目処に、寄附をお願いいたします。

なお、設立年度である平成14年度は、設立基金への寄附のみをお願いし、平成15年度以降に改めて、支援会員（会費：一口5,000円以上）のお願いをすることになりました。すなわち、設立基金へ寄附いただいた方々は、初年度の支援会員とさせていただきます。

### 学 外

会 員：一口 5,000円（できるだけ4口以上お願いいたします）  
法 人：一口 50,000円（できるだけ4口以上お願いいたします）

### 学 内

会 員：一口 5,000円  
教 授：できるだけ4口以上お願いいたします。  
助教授・講 師：できるだけ3口以上お願いいたします。  
その他の教職員：できるだけ2口以上お願いいたします。

### 振込先

郵便振替 口座番号： 00860-8-113043  
名古屋大学全学同窓会

### 振込用紙

「振替用紙（料金加入者負担・赤色）」のご請求は、下記の電話、FAX、メールアドレスにご連絡下さい。

T E L 052-789-5759 FAX 052-789-2019  
E-mail nual-jimu@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

郵便局に置いてある「振替用紙（料金払込人負担・青色）」をご利用いただいても結構です。  
その場合は、通信欄に以下のことをご記入いただければ幸いです。

#### 振替用紙通信欄

1 卒業（修了）生 在籍最終年 年 学部・研究科（修士/博士）  
2 教職員 旧職員・現職員 所属部局 職名  
3 法人等 会社名  
4 E-mail  
振込額内訳 設立基金・支援会費（個人一口 5,000円） 円（ 口）  
（法人一口 50,000円） 円（ 口）

# ■ 名古屋大学全学同窓会財務計画（案）について

## 1．名古屋大学全学同窓会の活動について

名古屋大学は学術憲章に従って、「ものづくり」の地域的伝統のうえに我が国の基幹大学のひとつとして、学生や市民を含むユーザーの視点にたった社会に開かれた大学として、あるいはアジアをはじめ海外に展開する経済圏を背負う大学として、その国際的な役割を果たすことを使命としている。名古屋大学全学同窓会はその設立理念にあるように、この名古屋大学の学術憲章にそった活動を支援し、大学と社会を結ぶ必須の組織の1つとして社会に貢献することを使命としている。

## 2．活動基盤整備と財務計画

### 1)「社会貢献人材バンク」の作成と維持

名古屋大学全学同窓会は名古屋大学の卒業生だけでなく、教職員や教職員であった者など名古屋大学に関係した全ての人を構成員にしている。外国人の学生・研究生・教員ももちろん対象にしている。この全学同窓会が、新しいタイプの同窓会として、大学と連携協力して、社会貢献できるような基盤整備を行う。

名古屋大学はこれまで多くの優れた人材を輩出してきたが、これら名古屋大学関係者が社会においてどのような活躍をしているかの情報を集めた「社会貢献人材バンク」を作成するとともに、その維持・管理をはかる。この人材バンクでは、E-mailアドレスも管理し、名古屋大学と名古屋大学全学同窓会関係者の双方向に連絡しあうことができる体制を整える。この人材バンクをもとに、さらなる社会貢献をはかる基礎的な資料とする。また、学生募集時や現役学生に名古屋大学関係者の活躍を知らせ、大きな人的ネットワークの中にいることを知らせる。

### 2) 交流基盤の整備

10万人規模の会員からなる全学同窓会を大学と社会をつなぐ必須の組織とするために、インターネットを積極的に活用した、交流基盤を作成する。「社会貢献人材バンク」を活用することにより、大学と連携して、その使命を達成できるように交流基盤を整備する。また、アジアを中心として名古屋大学の交流拠点を設置する支援を行う。

## 3．他大学及び部局同窓会の財務について

最近、全学同窓会を立ち上げた大学としては、九州大学が直近であり、同窓会が中心となり、2億4,260万円を集め、財団法人九州大学後援会を設立した。また、名古屋大学の部局同窓会として、経済学部同窓会キタン会および医学部同窓会学友会は、ともに会員が約1万人で、年間約3,000万円で活動している。

名古屋大学全学同窓会は、約10万人規模の同窓会であり、その設立時基盤整備としては、社会貢献人材バンク作成、アジアの交流拠点設置、インターネット利用の交流基盤整備、ホームページ立ち上げ、設立総会の経費を、活動事業経費としては、名古屋大学地域貢献支援経費、アジアの交流拠点維持経費、名古屋大学支援経費（学生、教職員、名古屋大学関係者研修経費）、社会交流経費（講演会、交流会、就職相談）、広報経費（e-newsletter、会誌）社会貢献人材バンク維持経費、総会費、人件費、通信費等を考えている。

連絡先	名古屋大学全学同窓会設立委員会事務局 tel 052 - 789 - 5759      fax 052 - 789 - 2019
発行者	名古屋大学全学同窓会設立委員会委員長 伊藤義人